令和6年度 第2回自己評価の分析

設問項目	肯定的回答 (%)			分析内容
	生徒	保護者	職員	
【設問1】 楽しい場	前回 89 今回 89	前回 92 今回 88	前回 95 今回 95	保護者が4%減少した。2学期になり学習内容が難しくなるとともに3年生の受験が迫ってくることで、生徒の保護者への相談機会が増加したためであると考えられる。ただ生徒の変化はなく、自由記述に肯定意見も多数見られることから多くの生徒にとって学校は概ね楽しい場になっているといえる。一方、2学期は欠席をする生徒が増加傾向にあり、全校生徒が、今後も安心して学校生活を送れるよう努力する必要がある。
【設問2】 学校施設	前回 96 今回 98	前回 94 今回 94	前回 87 今回 86	生徒の肯定的な回答が2%増加となった。1年生の職業人に学ぶ会では様々な学校施設を活用した授業に取り組んだり、2年生の職場発表会では清心館を活用したプレゼンテーションに取り組んだりしたことが評価につながったものと推測できる。今後もきれいな校舎の維持を意識させて清掃活動を充実させていく。
【設問3】 情報発信	前回 90 今回 91	前回 90 今回 90	前回 100 今回 100	1学期同様、2学期も肯定的な評価が多かった。さくら連絡網で、学校だよりを中心に学校の様子を伝えている効果があると考えられる。また、ホームページの更新など、保護者に必要な、情報を発信できている。ただし、部活動の予定をもう少し早く出してほしいという要望や、生徒が配付物を持って帰って渡さないといったご意見があるので、さくら連絡網で配付物の内容を知らせるなど、情報の伝達方法は今後も工夫が必要だと考える。
【設問4】 地域交流	前回 72 今回 73	前回 67 今回 74	前回 86 今回 76	合唱コンクールを保護者観覧で行うことができた。また、授業参観やPTAバザーを行うことができた。1年生の職業人に学ぶ会では地域の事業所から多くの働く方々をお招きすることができた。2年生の職場体験学習では、地域の事業所に生徒を受け入れていただき、働くことについて考える機会をいただいた。これらが、保護者の肯定的な回答の増加につながったものと考えられる。今後も地域の教育力を活用していきたい。教員は地域との更なる交流を更に増やしていく必要性を感じた者が増えたことから、肯定的な回答が減少したものと考えられる。
【設問5】 いじめ防止	前回 86 今回 83	前回 80 今回 76	前回 100 今回 100	生徒、保護者、の回答が前回を下回った。保護者からの自由記述にはいじめの対応について「改善されていないと思った」という意見もあり、早期解決の難しい案件について学校の対応を「遅い」と感じている保護者もいる。生徒からの自由記述には「かわれている」という意見もある。年5回行っているいじめ防止アンケートの成果として、いじめの早期発見はできているものの、早期解決を目指す対応やいじめの未然防止の指導を更に充実させていく必要がある。
【設問6】 わかる授業	前回 93 今回 95	前回 81 今回 74	前回 95 今回 95	90%を超える生徒が肯定的な回答をしている。職員と生徒の良好な関係から、わかる授業が展開できていると考えられる。しかし、定期テストの結果に結びついていない現状から、保護者の否定的な回答が増加したと考える。1学期と比べ2学期は各学年とも学習内容が難しくなり、定期テストも中間・期末と2回行われている。本校の生徒の課題としては、考えを的確に記述することがある。粘り強く問題に取り組ませるために、わかる授業、学習した内容を自分の言葉でまとめる授業を全教科で展開することが重要となる。今後もこれらの課題について改善に取り組んでいく。
【設問7】 誠実な相談活動	前回 91 今回 92	前回 81 今回 85	前回 100 今回 100	生徒と保護者の肯定的な回答が1学期より増加した。タブレットを活用したストレスチェックにより、生徒の状況を教師がキャッチして早期対応につながるケースがあった。生徒への対応、電話連絡、情報の発信などの取組に一定程度評価をいただいたと考えられる。本校の保護者は、アンケートの回答にも表れているように、本校に対して協力的な気持ちを持っている人が多数いる。一方で、教職員の指導の体制や方法に改善を求める要望も散見される。こうした声を真摯に受け止め、今後も保護者や生徒の信用を裏切らないようにする必要がある。職員同士声を掛け合い、組織として丁寧な対応を心がけていきたい。

設問項目	肯定的回答 (%)			分析内容
	生徒	保護者	職員	
【設問8】 生徒理解 公平な評価	前回 87 今回 87	前回 82 今回 79	前回 100 今回 90	職員が100%から90%に下がった。生徒の様々な課題に対応する中で、自身の評価方法について自問する職員が出てきたからであると推察される。生徒が納得のできる評価を内省し、不透明なところがあれば丁寧に説明することが課題だと考える。生徒の努力がそのまま結果に結びつかないこともあるが、取組の過程を大切に評価をして生徒と保護者が納得できるように今後も生徒理解を深めていく。
【設問9】 教育環境	前回 95 今回 97	前回 95 今回 95	前回 100 今回 100	生徒、保護者、職員ともに肯定的な回答がほとんどであった。授業参観や三者面談などの機会に、実際に校舎内を見て、掲示物や教室環境の状態を評価していただいたと考える。インターネットの通信環境の脆弱性を市教育委員会へ伝えた結果、次年度は改善の見込みとなった。また、学校支援の有志団体等の協力により、体育館の外壁修繕も計画している。今後も清潔で整った環境を維持し、安心安全な学習環境作りに取り組んでいく。
【設問10】 授業への取組 ・時間を守る	前回 93 今回 91	前回 95 今回 92	前回 100 今回 90	1学期から継続してきた活動が定着し、授業規律が整うとともに、どの生徒も時間を守り集中して授業に取り組むことができていく。だが、2学期後半は気の緩みから時間にルーズな生徒も一部で見られた。また、熱心に指導するあまり授業の終了時刻を過ぎてしまう職員も散見された。職員もこれまで以上に時間を意識して、生徒の模範となるように心がけていく。
【設問11】 交通ルールを 守る	前回 99 今回 96	前回 82 今回 77	前回 78 今回 67	毎月1回交通指導日を実施している。職員が学区の定点に立ち登下校時の生徒の観察や指導を行っている。また、保護者と合同の交通指導も年間5回実施している。さらに、学級活動や集会で交通安全についても指導を継続している。このため、生徒の交通ルール遵守の意識は高まっている。だが、登下校の様子を見ている保護者は生徒の自転車の走行に危険を感じている。自転車での事故は被害者のみならず加害者にもなることを徹底して周知するなど、交通事故発生0を目標に今後も指導を継続していく。
【設問12】 元気なあいさ つ	前回 90 今回 89	前回 80 今回 80	前回 73 今回 62	1学期は、昨年度と比較して元気な挨拶をする生徒が少なくなってきたのではないかと職員の意見があった。職員の打合せでも度々挨拶について話題が上がり、普段の取組をしっかりと行うことを共通理解し実践してきた。だが、職員の課題意識は高く更なる指導の充実を求めている。次年度に向けて元気な挨拶ができる生徒が更に増えるように指導を継続していく。
【設問13】 身だしなみ	前回 95 今回 96	前回 97 今回 96	前回 100 今回 95	生徒はTPOに合わせた身だしなみで学校生活を送ることができている。服装や髪型が著しく乱れている生徒はいない。一方で細かく見ると、名札のつけ忘れや、教室や廊下で歩きながら髪の毛を櫛でとかしたり、着替えの途中で歩き回ったりする様子が見られる。今後も身だしなみやマナーについて考える場面を増やして、社会に出ても困らないように指導していく。
【設問14】 清掃活動	前回 97 今回 96	前回 93 今回 93	前回 86 今回 57	学期に一度の大掃除では、どの生徒も一生懸命に校内の清掃に取り組んでいる。また、奉仕作業の時間では仲間と協力して清掃を行っている。しかし、毎日の掃除では、職員の目の届かないところでは、雑談をして真剣に取り組めない様子も見られる。このことから、もっと真剣に清掃活動をしてほしいと考える職員が多く全てのアンケートの中で最も大きな減少となった。環境委員の活動を推進するなど、生徒が主体的に清掃活動に取り組めるよう指導していく。
【設問15】 保護者の参加	前回 94 今回 92	前回 92 今回 90	前回 100 今回 100	今年度の体育祭は平日に実施したが多くの保護者が来校した。2学期に実施した合唱コンクールは保護者を学年ごとの入れ替え制で参観する方法を採用し、各学年とも多くの保護者が東金文化会館に来館した。次年度も東金文化会館で実施する予定。またフリー参観や進路説明会にも多数の保護者が参加した。さらに、保護者と地域の方に協力していただき、PTAバザーは飲食を伴う形式で開催できた。これからも、生徒が安心して学校に登校できるようにPTA活動をはじめ、保護者と協力、連携しながら教育活動を進めていく。